

平成 17(2005)年 8 月～12 月 **長期漁況海況予報** 平成 17(2005)年 8 月発行



大分県農林水産研究センター水産試験場

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

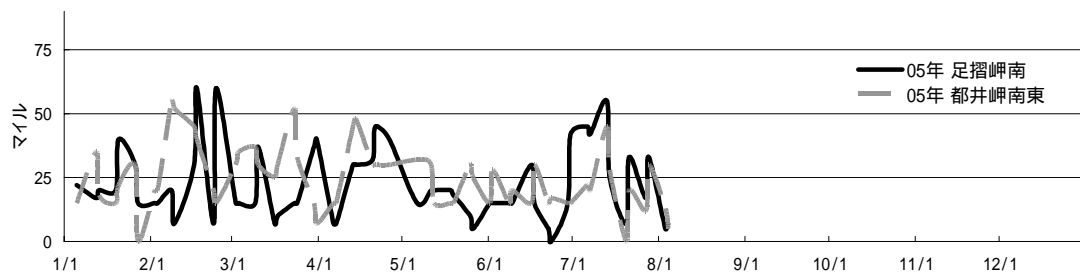
Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.mfs.pref.oita.jp>

海況経過<2005(平成17)年前期>

黒潮

2005(平成17)年 2 月上旬、九州南東沖に小蛇行が形成され、3 月上旬に九州東岸から四国沖へ東進しました。4 月には、日向灘沖に小冷水渦が発生し、その後東進しました。6 月中旬、日向灘に新たな小蛇行が形成され、6 月下旬四国沖を東進し、6 月末に潮岬沖を通過しました。

黒潮北縁と都井岬、及び足摺岬との距離の状況は、期間を通じて離接岸を繰り返しましたが、2 月と7 月に離岸となった他は、比較的接岸傾向で推移しました(図 1)。



足摺岬：接岸 0～25 マイル やや離岸 25～45 マイル 都井岬：接岸 0～30 マイル やや離岸 30～50 マイル

図 1 足摺岬南及び都井岬南東方向の黒潮北縁までの距離(南西東海沿岸海況速報による)

水温

豊後水道の水温(0m、10m、20m、30m、50m及び75m層)は、期間を通して概ね「低め」～「きわめて高め」傾向でしたが、豊後水道南部の4月が「低め」傾向、中部の6月が「高め」～「きわめて高め」となりました(表1)。

伊予灘と別府湾の水温(0m、10m、20m、30m 及び50m層)は、期間を通して概ね「やや低め」～「高め」傾向でしたが、伊予灘の4月が「やや低め」となりました(表2)。

塩分

豊後水道の塩分は、期間を通して概ね「きわめて低め」～「高め」傾向でした。

伊予灘と別府湾の塩分は、期間を通して概ね「きわめて低め」～「平年並み」傾向でした。

表1 水温の平年偏差評価（豊後水道 2005 年）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月
(北部)	0m	-	- +	- +	- +	- +	+
	10m	-	- +	- +	- +	- +	+
	20m	-	- +	- +	- +	- +	++
	30m	-	- +	- +	- +	- +	++
	50m	-	- +	- +	- +	+ -	++
	75m	-	-	-	-	- +	+
(中部)	0m	-	- +	+ -	+ -	-	+++
	10m	-	+ -	+ -	- +	- +	+++
	20m	-	+ -	+ -	-	- +	+++
	30m	-	+ -	+ -	-	- +	++
	50m	-	+ -	+	-	- +	++
	75m	-	+ -	+ -	-	-	+
(南部)	0m	+ -	- +	+ -	+ -	+ -	++
	10m	+ -	- +	+ -	-	+ -	++
	20m	+ -	- +	+ -	- -	+ -	++
	30m	- +	- +	+ -	- -	- +	++
	50m	- +	- +	+ -	-	-	++
	75m	- +	-	+	- +	- +	+

表2 水温の平年偏差評価（伊予灘・別府湾 2005 年）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月
(伊予灘)	0m	+	+ -	-	-	- +	欠測
	10m	+	+ -	- +	-	- +	欠測
	20m	+	+ -	- +	-	+ -	欠測
	30m	++	+	- +	-	+ -	欠測
	50m	+	- +	-	-	- +	欠測
(別府湾)	0m	+	+ -	- +	- +	+ -	+ -
	10m	+	+ -	- +	-	+ -	+
	20m	+	+ -	- +	- +	- +	+ -
	30m	+	+ -	- +	- +	- +	+ -

注) + + + :きわめて高め ++ :高め + :やや高め + - :高めの平年並
 - + :低めの平年並 - :やや低め - - :低め - - - :きわめて低め

海況の見通し<2005(平成17)年後期>

黒潮

8月に九州南東沖で規模の小さい小蛇行が形成され、9月に四国沖を東進するでしょう。九州南東沖では9月に接岸傾向に戻るでしょう。10月～12月は九州南東沖で再び離岸傾向となりますが、その規模は小さいでしょう。黒潮の小蛇行の通過や小規模な離接岸変動に伴って暖水が一時的に沿岸域へ波及することがあるでしょう。

水温

「平年並み」～「高め」でしょう。

予測の根拠

中央水産研究所及び関係府県:平成17年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報会議資料(2005)

気象庁気候・海洋気象部:平成17年夏季の北西太平洋の海面水温予報(2005)

神戸海洋気象台:平成17年夏季の南日本海区の海面水温予報(2005)

福岡管区気象台:九州北部地方3か月予報(2005)

資源状況と漁況経過 < 2005(平成17)年前期 >

マイワシ

昨年までの経過

大分県漁協鶴見、米水津及び蒲江支店のまき網(特にことわりのない限り、まき網についての数値は、この3支店に関するもの)によるマイワシの漁獲量は、1986(昭和61)年以降の1990(平成2年)年までの間は、年間30,000トン前後あり、その大半は3月から7月に漁獲される体長15cm以上の「中羽」以上でした。1991(平成3)年以降、「中羽」以上は減少傾向となり、一方、7月から9月に主に漁獲される体長10cm前後の「小羽」も、1993(平成5)年に、一旦、増加しましたが、その後は低調に推移しました。全銘柄の漁獲量は1998(平成10)年まで8年連続で減少し、1999(平成11)年は前年に比べ僅かながら増加しましたが、2000(平成12)年は再び減少しました。そして、2001(平成13)年は1月下旬から2月中旬にかけてまとまった漁獲があり、約1,750トンと5年ぶりに1,000トンの水準を超えました。しかしながら、2002(平成14)年は約1トンと過去最低値を記録し、2003(平成15)年は約90トン、2004(平成16)年は約20トンと大きく低迷しました(図2)。

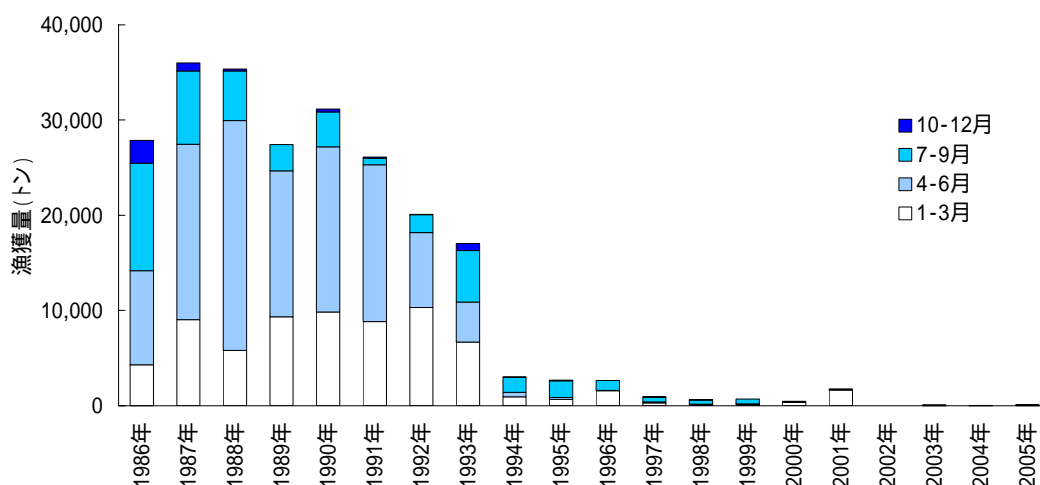


図2 マイワシのまき網漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

本年の経過

2005(平成17)年前半の月別漁獲量は、1～3月の春期大羽漁は61トンと、低水準ながら近年では比較的まとまった漁となりました。4～6月は13トン、と著しい不漁が継続しました。1～6月では74トン、1986～2004(昭和61～平成16)年の同期平均値との比(以下、「平年比」という)は1%となりました。

カタクチイワシ(成魚)

昨年までの経過

まき網によるカタクチイワシの漁獲量は、これまで一年毎に増加と減少を繰り返しており、漁獲の多い年(偶数年)で2,000～3,000トン程度、漁獲の少ない年(奇数年)で1,000トン前後の漁獲となっていました。しかしながら、1999(平成11)年には1月中旬から7月中旬にかけて豊漁が続き、過去最高の漁獲となりました。平年の漁期は6月から9月までが中心であり、1999(平成11)年は漁獲量及び漁期とも特異的な年となりました。そして、2000(平成12)年は約2,100トン、2001(平成13)年は約2,800トンと比較的高水準の漁獲となりましたが、2002(平成14)年は約1,500トン、

2003(平成15)年は約1,400トン、2004(平成16)年は約900トンと3年連続して減少しました(図3)。

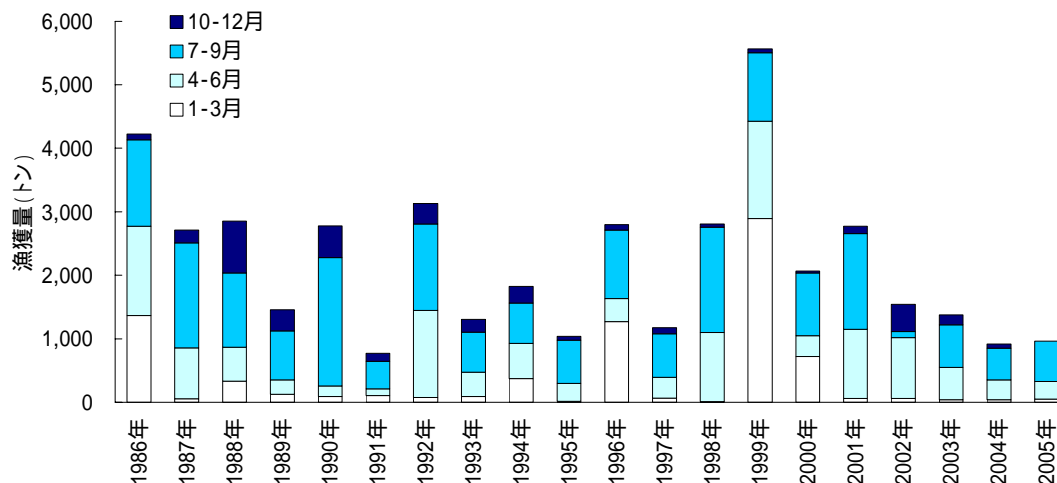


図3 カタクチイワシのまき網漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

本年の経過

2005(平成17)年前半の月別漁獲量は、各月4~205トン、前年比4~51%となりました。このうち、1~3月は50トン、前年比138%、前年比12%と低迷し、4~6月は270トン、前年比85%、前年比42%となりました。

カタクチイワシ(シラス)

昨年までの経過

佐伯湾(佐伯・鶴見)の船曳網によるシラスの漁獲量は、1992(平成4)年に約530トンの最高値を記録した後は、減少傾向となり、1995(平成7)年には200トンを割り込みましたが、その後は、1993(平成5)年以前の水準には及ばないものの増加傾向を示しました。しかしながら、2001(平成13)年は約160トンと過去最低値を記録し、2002(平成14)年も約210トンの低水準となりました。そして、2003(平成15)年は約330トンの高水準となりましたが、2004(平成16)年は再び減少し、約160トンと過去最低値を記録しました(図4)。

別府湾(杵築・日出)では、1990(平成2)年以降1,200~2,200トンの範囲で変動しましたが、1998(平成10)年の漁獲量は、1990(平成2)年以降初めて1,000トンを割り、約750トンと過去最低値を記録しました。1999(平成11)年は約1,640トンの高水準に転じましたが、その後は、減少傾向を示し、2002(平成14)年は約870トン、2003(平成15)年は約1,120トン、2004(平成16)年は約810トンの漁獲となりました(図5)。

(推計方法:別府湾の漁獲量 = 製品(ちりめん)重量 × 2.514、 豊後水道の漁獲量 = 製品(ちりめん)重量 × 2.380)

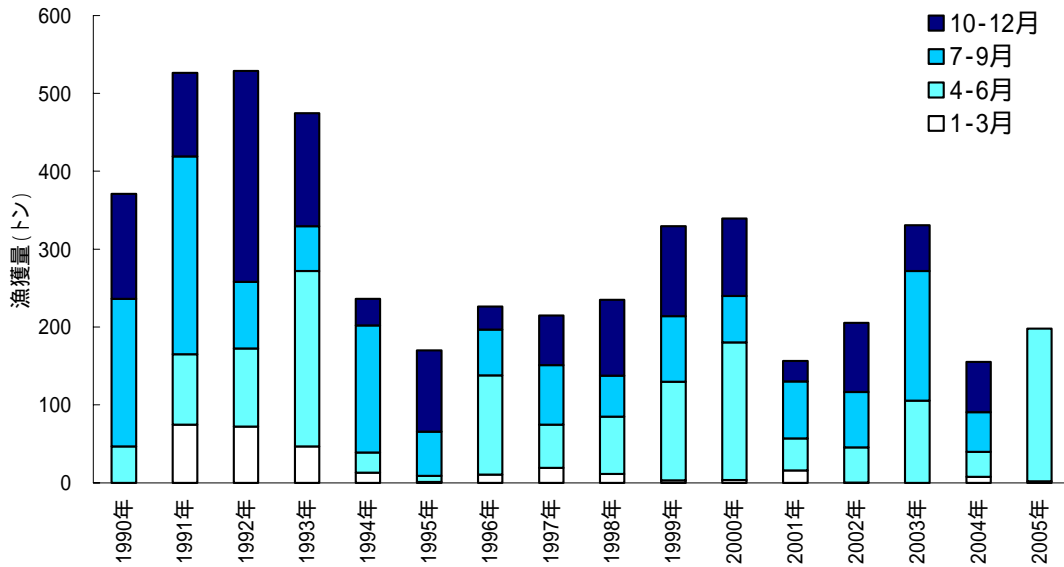


図4 シラスの船曳網漁獲量（佐伯湾）

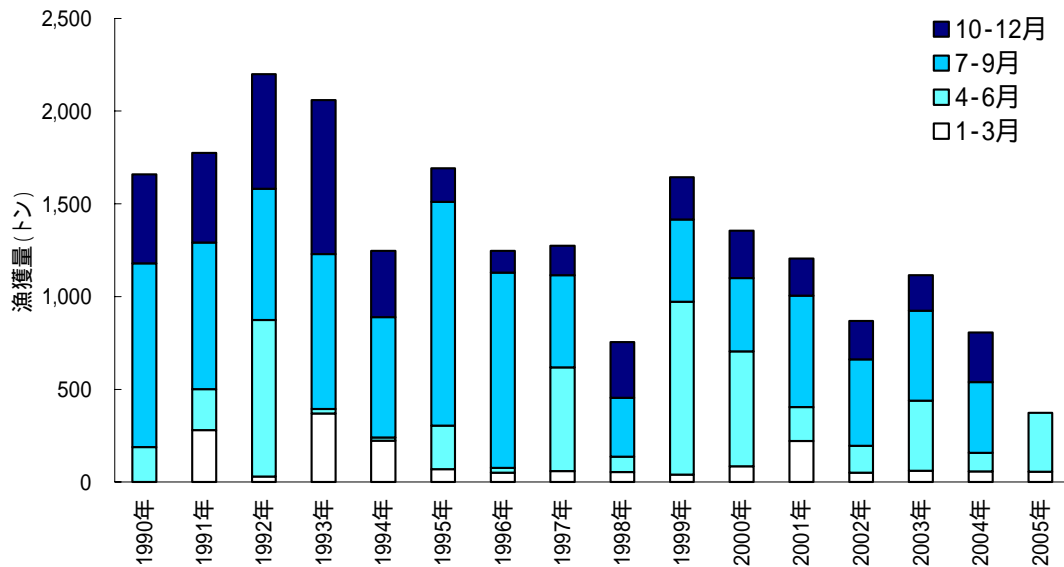


図5 シラスの船曳網漁獲量（別府湾）

本年の経過

2005(平成17)年前半の月別漁獲量は、佐伯湾では1～3月は2.1トン、前年比10%(シラスの前年比は1991～2004(平成3～16)年の同期平均値との比)、4月は52.6トン、前年比316%、前年比353%、5月は103.3トン、前年比738%、前年比296%、6月は39.7トン、前年比2,633%、前年比112%と好調でした。